

学外活動

茂木健一郎さんの講演会に行ってきました。

洗足学園の生徒達の活躍は学内にとどまることなく、様々な学外活動にもチャレンジしています。学外活動の情報は Google Classroom 上や、学年の掲示板、教室の掲示板でお知らせしています。特にお勧めしたい学外活動は学年集会でもご紹介しています。生徒たちはその中から自分の興味に合ったものに自由に参加しています。学外活動といっても、その活動内容は多種多様です。コンテストやディベート大会のようなものもあれば、大学の公開講座や医師体験、政治家体験のようなものもあります。

そのような中から今回は有名な脳科学者である茂木健一郎氏の講演会をご紹介します。6月15日（土）に高校生を対象に「10代から思い描く“幸せ”のカタチ」と題した講演会が開かれ、この日は雨が降っているにも関わらず、洗足学園の多くの生徒が授業後、秋葉原まで出かけて行きました。

進路に悩んでいる人、将来やりたいことが今一つはっきりとしない人に向けた特別講義でした。



参加した生徒の感想を一部ご紹介します。

「文字が読めないのも個性だし、絵がかけないのも個性である。一般的にそれらは障害と言われているが、私たちは個性と言っている。文字が書けなくても起業や教育をしたり、絵がかけなくてもアニメの原作者であったり、世の中には様々な人がいる。」といった講義を聞いて、学校という狭い社会にも様々な人がいるわけで、自分も一個性としてあるのだから、自分の個性もみんなの個性も大事に受け入れるべきだと思った。質疑応答では、脳科学に興味があって参加した人からの専門的な質問や、今の日本の教育に対してこう思うけど自分は実際にどうすればいいのかという質問があった。今まで、自分の長所は何か、強みは何か、短所は何か、といったことを深く考えずに生きてきて、自分についてまだよく分からない。自分の本当にやりたいことは何か、を見つけるためにこのイベントに参加しようと思ったのだが、イベントに参加していた150人くらいの高校生の中には、もう将来自分はこうしたい、だから高校ではこうして大学ではこうして就職はここにしたい、といったビジョンが明確化されている人が沢山いて、本当に同じ高校生なのか、と驚かされた。今まで同じ時間を生きてきているのに、その時間の使い方によってこんなにも差が出てしまうのかと反省もした。この講義を通して、自分の本当にやりたいことは何か、直接的に見つけることは出来なかったが、自分を知らうと思うきっかけになったので、これを機に自分を見つめ直し、本当にやりたいことは何か見つけたいと思った。自分の本当にやりたいことを見つけ、大学・学部選択や就職選択を間違えず、後悔しないようにしたい。刺激的なイベントだったので、またこういう機会があれば参加してみたい。